

求められることになると推察されます。

本町の農業者の高齢化は確実に進行しており、農業振興を図るうえでも農業生産法人化・団地化という2つの方針は、必ず必要になってくるものと思っています。

このため、本町の平成23年度における農業施策としては、集落営農組織などの農業生産法人化の育成および農地利用集積の規模拡大に伴う国の農業者戸別所得補償制度、秋田県農林漁業振興臨時対策基金事業、町の独自助成事業を大いに活用し、町の農業振興に資する施策に邁進したいと思っています。

上下水道関係事業について

簡易水道事業では、水道事業基本計画に基づく上岩川・下岩川間の水道管接続に係る事業を進めたいと考えています。これは、県道拡幅改良工事の進行と合わせ、安価で水道管を埋設し、緊急時双方向からの給水を可能とするものです。

下水道事業は、昨年、経営健全化計画完了届を県に提出したものの、一般会計からの繰り入れに頼る部分も大きいことから、料金収入による経営安定を図るため、加入促進に努めます。

農業集落排水事業は、来年度から下岩川地区が供用開始となりますので、今後はより一層の加入促進に努めます。

温泉事業では、施設の老朽化や温度調整の改善に対応し、安定した供給と経営に努めます。

上水道事業では、原水の水質悪化が顕在しており、適切な薬剤注入処理、あるいは新たな井戸の掘削も視野に入れながら、良質な水道水の供給に努めます。

教育行政方針について

国の教育行政が激動している中であっても、子どもたちが夢や希望を持ってたくましく生きていくよう、学校、家庭、地域社会そして行政がしっかり連携し、「三種の子は、三種で育てる」の合言葉のもとに、町民と一体となって施策を進めます。

新学習指導要領は、小学校が平成23年度、中学校では、平成24年度から実施されます。新しい学習指導要領の基本的な目標は、「生きる力」を育成することです。「生きる力」は、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を総合的に育てることによって形成されます。

この観点から、重点施策の第一として「確かな学力」を育成するために、あらゆる学習の基盤としての「言葉の力を育てる活動」、「言語活動の充実」を全教科において推進します。特に、言葉に関する能力を育むに当たって読書活動は不可欠であることから、学校図書館の充実を図ると共に、公民館に配置予定の臨時司書や図書ボランティアなどと連携し、読書活動の支援を図りながら、児童・生徒の読書意欲向上と読書活動の活発化に努めます。

審議された主な議案等

- 三種町課設置条例等の一部を改正する条例の制定
- 三種町職員定数条例の一部を改正する条例の制定
- 三種町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 三種町住民生活に光をそそぐ基金条例の制定
- 三種町合併振興基金条例の制定
- 三種町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定
- 秋田市市町村総合事務組合規約の一部変更
- 三種町過疎地域自立促進計画の変更
- 工事請負契約の一部変更
- 町道路線の変更
- 町道路線の認定
- 三種町八竜健康保養施設等の指定管理者の指定
- 三種町八竜多目的健康広場の指定管理者の指定
- 三種町立児童館における指定管理者の指定
- 三種町浜村児童公園及び三種町鹿中児童遊園地の指定管理者の指定
- 三種町地区集会所等における指定管理者の指定
- 三種町多目的研修集会施設等における指定管理者の指定
- 平成22年度一般会計ほか各特別会計の補正予算に関する議案13件
- 平成22年度特別会計への繰入に関する議案4件
- 平成23年度三種町一般会計ほか各特別会計予算に関する議案13件
- 平成22年度三種町一般会計補正予算の専決処分の承認
- 小町房住線道路改良工事請負契約の締結

【一般会計補正予算の主な歳出】

◇退職特別手当負担金	5,243千円
◇自立支援給付費等	8,949千円
◇国民健康保険特別会計繰出金	4,184千円
◇介護保険事業特別会計繰出金	2,066千円
◇国民健康保険診療所特別会計繰出金	31,642千円
◇公営企業会計繰出金	2,328千円
◇小規模農地災害復旧事業補助金	1,200千円
◇林道災害復旧事業	48,830千円
◇基金積立金	73,938千円